

待機児童
ゼロ達成

子育てしやすいまちへ歩みをすすめています

本市は令和3年4月時点で待機児童ゼロを達成しました。そこで特集2では本市の待機児童対策と子育て支援についてお伝えします。



市公式LINEアカウントの
友だち追加はこちらから

保育園によってさまざまな**特色**があります

運営や設備は保育園によって違います。保育園を選ぶ際は、見た目や立地だけではなく子どもたちや保育する人の様子などを踏まえて希望の申し込みをしましょう。厚生労働省では、よい保育施設の選び方10か条をまとめています。また、市公式Webサイトで保育施設利用のご案内、市公式LINEアカウントで認可保育施設の開園情報をお知らせしておりますので、併せてご利用ください。

☎711-1785こども施設入園課

よい保育施設の選び方10か条

1 まずは情報の収集を

こども施設入園課、子育てナビ八幡・行徳(詳しくは下部参照)で情報の収集や相談をしましょう。

2 事前に見学を

決める前に必ず施設を見学しましょう。

3 見た目だけで決めないで

キャッチフレーズ、建物の外観など見た目だけで決めるのはやめましょう。

4 部屋の中まで入ってみて*

見学するときは、子どもたちがいる保育室の中まで入らせてもらいましょう。

5 子どもたちの様子を見て

子どもたちの表情がいきいきしているか、見てみましょう。

6 保育する人の様子を見て

保育する人の数、子どもたちへの接し方はどうかなど保育する人を見てみましょう。

7 施設の様子を見て

赤ちゃんが静かに眠れる場所や子どもたちが動き回れる十分な広さや遊び道具があるか、また、災害時の避難口や階段があるか見てみましょう。



8 保育の方針を聞いて

園長や保育する人から、保育の考え方や内容について聞いてみましょう。また、どのような給食を出しているか、連絡帳などで家庭との連絡や参観の機会があるかなどを聞いてみましょう。



9 預けはじめてからもチェックを

預けはじめてからも、機会があれば保育の仕方や子どもの様子を見てみましょう。

10 不満や疑問は率直に

不満や疑問があれば、相談してみましょう。誠実に対応してくれるでしょうか。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育室への立ち入りを制限している場合があります。各保育施設へお問い合わせください。

厚生労働省「よい保育施設の選び方10か条」を参考に内容を一部変更しています。



こんなときどうしたら……

保育のことで困ったら

各支援の詳細は市公式Webサイトを確認ください。

子どもの預け先に関して困ったら

▶ 子育てナビ八幡・行徳で相談できます。

働き方やライフスタイルが多様化する中で、利用できる預け先の選択肢が増えています。

各家庭のニーズに合わせた預け先選びのポイントやお住まいの近くの園情報、入園手続きなど情報をもとにナビゲートします。お気軽にお問い合わせください。

対象 妊娠期～就学前

窓口開設時間 月～金曜日 午前8時45分～午後5時15分

☎園 子育てナビ八幡 八幡1-1-1☎2階 ☎711-0135

☎園 子育てナビ行徳 末広1-1-31☎2階 ☎359-1208

宿泊または休日や平日夜間に子どもを預かってほしい

▶ こどもショートステイをご利用ください。

保護者が病気、介護、出産、冠婚葬祭、育児疲れなどでお子さんを一時的に養育することができなくなったときに施設でお子さんをお預かりします。事前にこども家庭支援課へ登録が必要です。また、利用前に施設で面接があります。

☎711-0679こども家庭支援課

子どもを一時的に預かってほしい

▶ 一時預かりをご利用ください。

家庭での保育が困難な場合に、認可保育施設で、一時的または断続的にお子さんをお預かりします。保護者の短時間就労や就職活動、リフレッシュのためなど、いろいろな場合に利用できます。ただし、利用日数に限度があります。

サービスの種類	預ける理由	利用日数等の限度
一時預かり	保護者の傷病、出産、介護、短時間就労、就職面接などの場合	月15日以内
一時預かり(リフレッシュ)	保護者が育児中のリフレッシュを希望する場合	月2日以内

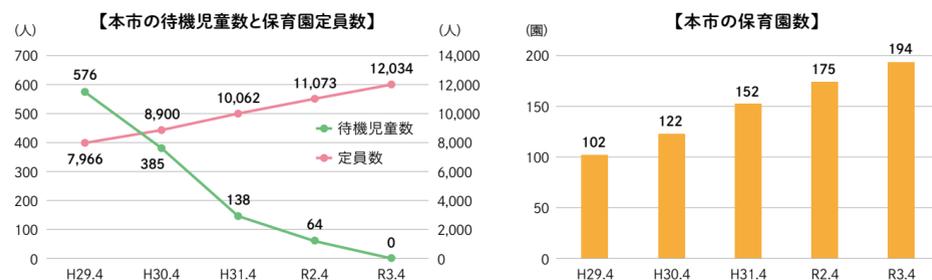
☎711-1798こども施設運営課

認可保育所、小規模保育事業所、認定こども園などを総称して今号では、保育園、保育施設などと呼んでいます。

国基準での待機児童数が**ゼロ**となりました

待機児童の状況

本市の待機児童数は平成29年4月時点で576人と全国で4番目に多い状況でしたが、毎年約1,000人規模の受け入れ枠の拡大を行ってきたことにより、令和3年4月時点で待機児童数がゼロとなりました。



今後に向けて

国基準での待機児童ゼロは達成しましたが、お住まいの地域やお子さんの年齢によっては希望する保育園に入れないなど、ニーズにお応えできない場合があります。引き続き需要の動向を見極めながら、保育園の整備や子育て支援を進めていきます。
☎711-1785こども施設入園課(保育園への入園に関して)
☎711-3061こども施設計画課(保育園の整備に関して)

市内で働く保育士を応援しています

保育園利用者の受け入れ数を増やすためには、保育士のみなさんの力が必要です。市では市内で働く保育士を応援するためさまざまな取組をしています。本市で保育士として働いてみませんか。

☎711-1798こども施設運営課

魅力1 / 都内に近くも家賃補助があるから安心

月額最大7万5千円の家賃補助

保育士が住むための家を保育施設が借り上げた場合、市が費用の一部を補助しています。

魅力2 / 保育士としての新生活を応援

最大10万円の新生活準備資金補助

新たに本市内の民間保育施設で働く場合、新生活のための準備資金として市が補助しています。

魅力3 / 保育士の生活を充実化

月額最大10万円程度のいちかわ手当

公立保育園の保育士と同水準の給与になるように、市が費用の上乗せをしています。

保育士の就職・再就職を支援します

ちば保育士・保育所支援センターでは、保育所で働きたい方と、人材を求める保育所の橋渡しをしています。保育士の経験のある方や、保育士資格を有しているけれど働いていない方の就職を支援します。

就職をお考えの方は求職者登録(右記2次元コード参照)をお願いします。相談支援や研修・就職説明会なども開催していますので、ご利用ください。

☎043-222-2668同センター

